

芦屋市規則第1号

芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例（平成26年芦屋市条例第41号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(許可の申請)

第2条 条例第2条第1項の許可を受けようとする者は、許可申請書（様式第1号）に、設計説明書（様式第2号）及び別表の左欄に掲げる行為の区分に応じ、同表の右欄に掲げる図書を添えて、市長に提出しなければならない。許可を受けた行為の内容を変更しようとするときも同様とする。

(協議)

第3条 条例第2条第3項の規則で定めるものは、次に掲げる者とする。

- (1) 独立行政法人都市再生機構
 - (2) 国立研究開発法人森林総合研究所
 - (3) 独立行政法人労働者健康福祉機構
 - (4) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
 - (5) 独立行政法人水資源機構
 - (6) 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
 - (7) 独立行政法人環境再生保全機構
 - (8) 独立行政法人中小企業基盤整備機構
 - (9) 地方住宅供給公社法（昭和40年法律第124号）による地方住宅供給公社
 - (10) 地方道路公社法（昭和45年法律第82号）による地方道路公社
- 2 条例第2条第3項の規定に基づく市長との協議は、協議書（様式第3号）に、設計説明書及び別表の左欄に掲げる行為の区分に応じ、同表の右欄に掲げる図書を添えて行うものとする。協議した行為の内容を変更しようとするときも同様とする。

(通知)

第4条 条例第3条の規定に基づく通知は、通知書（様式第4号）に、設計説明書及び別表の左欄に掲げる行為の区分に応じ、同表の右欄に掲げる図書を添えて行うも

のとする。通知した行為の内容を変更しようとするときも同様とする。

(許可及び不許可の通知)

第5条 市長は、条例第2条第1項の規定により当該申請に係る行為を許可したときは許可書(様式第5号)を、当該申請に係る行為を許可できないと認めたときは不許可通知書(様式第6号)を当該申請をした者に交付するものとする。

(届出)

第6条 風致地区内において、条例第2条第1項の許可を得て、同項各号に掲げる行為を行う建築主、造成主等(以下「建築主等」という。)が、次の各号のいずれかに該当する場合においては、遅滞なく、その旨を届出書(第1号及び第2号の場合にあっては変更・異動届(様式第7号)、第3号の場合にあっては届出書(様式第8号))により市長に届け出なければならない。

- (1) 建築主等又は工事施行者の住所又は氏名に変更があったとき。
- (2) 建築主等又は工事施行者に異動があったとき。
- (3) 工事を完了し、中止し、又は廃止しようとするとき。

(新たに風致地区が指定されたときの行為の届出)

第7条 新たに風致地区として指定された際現にその区域内において条例第2条第1項各号に掲げる行為に着手している者は、その指定又は区域の拡張の日から起算して30日以内に、市長にその旨を届け出なければならない。

(許可事項の掲示)

第8条 条例第2条第1項の許可を受けた者及び第6条の規定に基づく届出をした者は、その工事期間中、標識(様式第9号)を当該許可を受けた行為又は当該届出をした行為に係る土地の区域内の見やすい場所に設置しなければならない。

(証明書)

第9条 条例第7条第2項の証明書は、身分証明書(様式第10号)による。

(緑地率に係る既存の良好な樹木)

第10条 条例別表第3備考第3項に規定する規則で定める既存の良好な樹木は、その位置、規模及び植生状態が、当該土地及びその周辺における風致の維持上有効であるものとする。

(緑地率に係る風致の維持に有効な植栽)

第11条 条例別表第3備考第3項に規定する規則で定める風致の維持に有効な植栽は、当該土地において風致の維持上有効な位置に、10平方メートルにつき6本とし、うち植栽時の高さが3.5メートル以上の高木1本以上及び植栽時の高さが1.5メートル以上の中木2本以上が行われたものとする。

(補則)

第12条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日前に風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則(昭和45年兵庫県規則第51号)の規定に基づきなされた手続は、この規則の相当規定に基づきなされた手続とみなす。

別表(第2条—第4条関係)

行為の区分	添付図書		
	図書の種類	縮尺	図書に明示しなければならない事項
1 建築物の新築, 改築, 増築又は移転	(1) 付近見取図	1/10,000以上	方位, 道路及び目標となる地物
	(2) 配置図	1/200以上	方位, 敷地の境界, 敷地内における建築物, 工作物, 木竹等の位置, 申請に係る建築物と他の建築物との別並びに敷地に接する道路の位置及び幅員
	(3) 平面図	1/200以上	方位, 間取り及び各室の用途
	(4) 立面図	1/200以上	主要部分の材料の種別, 仕上げ, 方向及び色彩
	(5) 断面図	1/200以上	建築物の断面, 現況地盤面, 設計地盤面及び平均地盤面の状況, 敷地の境界, 敷地内における建築物, 工作物, 木竹等の位置及び高さ並びに申請に係る建築物と他の建築物との別
	(6) 地盤算定図	1/200以上	建築物が接する設計地盤面及び平均地盤面の状況
	(7) 敷地面積等算定図	1/200以上	建築物の敷地面積, 建築面積, 求積図及び求積表
	(8) 緑地面積算定図	1/200以上	植栽によって覆われる土地の面積, 求積図及び求積表
	(9) 植栽計画図	1/200以上	植栽によって覆われる土地の区域並びに保存し, 伐採し, 若しくは移植する木竹又は新たに植栽する木竹(それぞれ色分けすること。)の名称, 位置, 高さ, 葉張り及び本数等
	(10) 状況カラー写真		敷地及びその周辺の状況
2 工作物の新築, 改築, 増築又は移転	(1) 付近見取図	1/10,000以上	方位, 道路及び目標となる地物
	(2) 配置図	1/200以上	方位, 敷地の境界又は工作物の地上投影部分及び申請に係る工作物と他の工作物との別
	(3) 平面図	1/200以上	
	(4) 立面図	1/200以上	主要部分の材料の種別, 仕上げ方法及び色彩

	(5) 断面図	1 / 200以上	工作物の断面, 現況地盤面, 設計地盤面及び平均地盤面の状況, 敷地の境界又は地上投影部分並びに申請に係る工作物と他の工作物との別
	(6) 地盤算定図	1 / 200以上	工作物が接する設計地盤面及び平均地盤面の状況
	(7) 敷地面積等算定図	1 / 200以上	工作物の敷地面積又は水平投影面積, 求積図及び求積表
	(8) 植栽計画図	1 / 200以上	植栽によって覆われる土地の区域並びに保存し, 伐採し, 若しくは移植し, 又は新たに植栽する木竹(それぞれ色分けすること。)の名称, 位置, 高さ, 葉張り及び本数等
	(9) 状況カラー写真		敷地又は工作物及びその周辺の状況
3 建築物等の色彩の変更	(1) 付近見取図	1 / 10,000以上	方位, 道路及び目標となる地物
	(2) 立面図	1 / 200以上	主要部分の材料の種別, 仕上げ方法及び色彩
	(3) 状況カラー写真		行為地及びその周辺の状況
4 宅地の造成, 土地の開墾その他の土地の形質の変更, 水面の埋立若しくは干拓又は土石類の採取	(1) 付近見取図	1 / 10,000以上	方位, 道路及び目標となる地物
	(2) 地形図	1 / 1,000以上	方位及び行為地の境界
	(3) 平面図	1 / 600以上	方位, 行為地の境界, 排水施設, 切土又は盛土をする土地の部分, 法面(切土又は盛土をする土地の部分に生ずる法に設置するものに限る。)及び擁壁(切土又は盛土をする土地の部分に生ずる法に設置するものに限る。)
	(4) 断面図	1 / 600以上	現況地盤面及び設計地盤面
	(5) 法面断面図	1 / 50以上	法の高さ, 勾配及び保護の方法
	(6) 行為地面積等算定図	1 / 200以上	行為地の面積, 求積図及び求積表
	(7) 緑地面積算定図(宅地の造成の場合を除く。)	1 / 200以上	植栽によって覆われる土地の面積, 求積図及び求積表
	(8) 植栽計画図	1 / 200以上	行為地において, 植栽によって覆われる土地の区域並びに保存し, 伐採し, 若しくは移植する木竹又は新たに植栽する木竹(それぞれ色分けすること。)の名称, 位置, 高さ, 葉張り及び本数等
	(9) 状況カラー写真		行為地及びその周辺の状況
5 木竹の伐採	(1) 位置図又は付近見取図	1 / 10,000以上	方位, 道路及び目標となる地物
	(2) 地形図	1 / 2,500以上	方位, 付近の土地利用の現況, 林況及び伐採区域

	(3) 伐採計画図	1 / 1,200以上	保存し、伐採し、若しくは移植する木竹又は新たに植栽する木竹（それぞれ色分けすること。）の名称、位置、高さ、本数等及び伐採後の土地利用の状況
	(4) 状況カラー写真		行為地及びその周辺の状況
6 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	(1) 付近見取図	1 / 10,000以上	方位、道路及び目標となる地物
	(2) 地形図	1 / 1,000以上	方位及び行為に係る土地の境界
	(3) 平面図	1 / 600以上	方位、行為に係る土地の境界、排水施設、堆積をする土地の部分及び擁壁
	(4) 断面図	1 / 600以上	現況地盤面及び設計上の堆積物の断面
	(5) 状況カラー写真		行為地及びその周辺の状況

許 可 申 請 書

年 月 日

芦屋市長 宛

申請者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

.....
氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

.....
⑩

.....
電話（ ） — 番

芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例第2条第1項の規定により、関係書類を添えて、次のとおり申請します。

敷地又は 行為地	所 在				
	地 目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)原野 (カ)池沼 (キ)その他 ()			
	現 況				
	用途地域 高度地区	地域		地区 指定なし	
	風致地区 の 種 別	第1種風致地区 ・ 第2種風致地区 ・ 第3種風致地区			
行為の区分	(ア)建築物の(新築・改築・増築・移転) (イ)工作物の(新築・改築・増築・移転) (ウ)建築物等の色彩の変更 (エ)宅地の造成 (オ)土地の開墾 (カ)水面の(埋立て・干拓) (キ)木竹の伐採 (ク)土石類の採取 (ケ)屋外における(土石・廃棄物・再生資源)の堆積 (コ)その他 ()				
行為の 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで				
設 計 者	住所				
	氏名		電話	()	— 番
施 工 者	住所				
	氏名		電話	()	— 番
他の法令の規 定により必要 な許認可等	許認可等の名称	許認可等の申請年月日	許認可等の行政庁	許認可等の年月日及び番号	
※受付欄			※処理欄		

- 備考
- この申請書には、設計説明書及び関係図書を添付してください。変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書きとし、変更前のものは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。
 - 該当の符号又は事項を○で囲んでください。
 - 敷地又は行為地の現況については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
 - 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
 - ※の欄は、記入しないでください。
 - 代理人により申請する場合は、委任状を添付してください。
 - 申請者が当該土地を所有していない場合は、当該土地の所有者の承諾書を添付してください。

設 計 説 明 書

1 建築物

行為の区分	行為の概要						※摘要	
1 地上に設ける建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	申 請 部 分		申 請 以 外 の 部 分		合 計			
	敷地面積					㎡		
	建築面積	〔 〕 ㎡		㎡		〔 〕 ㎡		
	建ぺい率	% $\frac{\text{建築面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$						
	延べ床面積	〔 〕 ㎡		㎡		〔 〕 ㎡		
	外壁の後退距離 (壁面最近線)	道路〔 〕m		m		〔 〕 m		
		隣地〔 〕m		m		〔 〕 m		
	平均地盤面からの高さ	〔 〕 m		m		〔 〕 m		
	建築物が接する地盤面の高低差	〔 〕 m		m		〔 〕 m		
	用途	(ア)専用住宅 (イ)共同住宅 (戸) (ウ)その他 ()						
	構造	(ア)木造 (イ)鉄筋コンクリート造 (ウ)その他 () 階建 棟						
	材料の種別仕上げ及び色彩	屋根 外壁						
	緑地の面積	㎡		内訳		自然の緑地	㎡	
						人工の緑地	㎡	
	緑地率	% $\frac{\text{緑地の面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$						
	植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	低木	合計	その他	
新植		本	本	本	本			
既存		本	本	本	本			
移植		本	本	本	本			
	計	本 (必要本数)	本 (必要本数)	本	本 (必要本数)			
2 地下に設ける建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	申 請 部 分		申 請 以 外 の 部 分		合 計			
	敷地面積					㎡		
	地下占用面積	㎡		㎡		㎡		
	延べ床面積	㎡		㎡		㎡		
	用途							
	構造	(ア)鉄筋コンクリート造 (イ)その他 ()						
3 仮設の建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	申 請 部 分		申 請 以 外 の 部 分		合 計			
	敷地面積					㎡		
	建築面積	㎡		㎡		㎡		
	延べ床面積	㎡		㎡		㎡		
	平均地盤面からの高さ	m		m		m		
	用途							
	構造	(ア)木造 (イ)鉄筋コンクリート造 (ウ)その他 ()						
	設置期間	年 月 日から 年 月 日まで						
建築物を除却した場合の跡地の処理方法								

- 備考 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
- 2 行為の概要の欄の〔 〕は、従前の建築物の面積、距離、高さ及び高低差をそれぞれ記入してください。
- 3 色彩については、色名を記入し、ペイント塗装の場合は、日本塗料工業会の色見本帳の色番号も記入してください。
- 4 自然の緑地の面積には、水面部分の面積も含めてください。
- 5 建築物を除却した場合の跡地の処理方法については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。
- 6 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書きとし、変更前のものは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。
- 7 ※の欄は、記入しないでください。

2 工作物

行為の区分	行為の概要				※摘要	
1 地上に設ける工作物 (ア) 新築 (イ) 改築 (ウ) 増築 (エ) 移転	工作物の種類					
	敷地面積		m ²			
	用途					
	構造		(ア)木造 (イ)鉄骨造 (ウ)石造 (エ)ブロック造 (オ)鉄筋コンクリート造 (カ)その他 ()			
			申請部分	申請以外の部分		合計
	規 模	水平投影面積	[] m ²	m ²		[] m ²
		平均地盤面からの高さ	[] m	m		[] m
		その他	[]			[]
	外部の材料の種類, 仕上げ及び色彩					
2 地下に設ける工作物 (ア) 新築 (イ) 改築 (ウ) 増築 (エ) 移転	工作物の種類					
	用途					
	構造		(ア)鉄筋コンクリート造 (イ)その他 ()			
	規 模	水平投影面積	m ²	m ²		m ²
		その他				
3 仮設の工作物 (ア) 新築 (イ) 改築 (ウ) 増築 (エ) 移転	工作物の種類					
	用途					
	構造		(ア)鉄骨造 (イ)木造 (ウ)その他 ()			
	規 模	水平投影面積	m ²	m ²		m ²
		平均地盤面からの高さ	m	m		m
	模	その他				
	設置期間		年 月 日から 年 月 日まで			
	工作物を除却した場合の跡地の処理方法					

備考 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。

2 行為の概要の欄の [] は、従前の工作物の面積、高さ等をそれぞれ記入してください。

3 敷地面積は、当該行為が建築物の敷地内で行われるものである場合は建築物の敷地面積を記入し、当該行為が建築物の敷地外で行われるもので敷地面積を算定しがたい場合は記入する必要はありません。

4 水平投影面積は、すべての工作物について記入してください。なお、工作物が2以上の場合は、個々の面積と合計面積を記入してください。

5 規模のうちその他については、長さ、幅員、面積、容積等を記入してください。

6 色彩については、色名を記入し、ペイント塗装の場合は、日本塗料工業会の色見本帳の色番号も記入してください。

7 工作物を除却した場合の跡地の処理方法については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。

8 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書とし、変更前のものは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。

9 ※の欄は、記入しないでください。

3 建築物等の色彩の変更

行為の区分	行為の概要		※摘要
建築物等の色彩の変更	色彩の変更を行う建築物等の用途		
	色彩の変更を行う部分		
	現在の色彩		
	変更後の色彩		
	色彩の変更を行う面積		
	色彩の変更 に用いる材料		

- 備考 1 色彩については、色名を記入し、ペイント塗装の場合は、日本塗料工業会の色見本帳の色番号も記入してください。
- 2 色彩の変更用いる材料については、具体的に記入してください。
- 3 ※の欄は、記入しないでください。

4 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更、水面の埋立て若しくは干拓又は土石類の採取

行為の区分	行為の概要						※摘要	
1 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更	行為場所	(ア)建築物の敷地内 (イ)建築物の敷地外		行為面積	m ²			
	隣接地の現況							
	跡地の処理方法							
	生ずる法面の最高 ^{のり}	m						
	移動土量	切土	m ³		客土	m ³		
		盛土	m ³		その他()	m ³		
	緑地の面積	m ²		内訳	自然の緑地	m ²		
					人工の緑地	m ²		
	緑地率	$\% \left(\frac{\text{緑地の面積}}{\text{敷地面積}} \times 100 \right)$						
	植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	低木	合計		その他
新植		本	本	本	本			

		既 存	本	本	本	本	
		移 植	本	本	本	本	
		計	本 (必要本数)	本 (必要本数)	本	本 (必要本数)	
2 水面の埋立て又は干拓	水 面 面 積	m ²		埋立又は干拓面積	m ²		
	隣 接 地 の 現 況						
	跡 地 の 処 理 方 法						
	施 工 方 法						
3 土石類の採取	採 取 区 域 面 積	m ²	採取量	m ³			
	採取土石類の種類						
	採 取 方 法	(ア)横坑掘 (イ)縦坑掘 (ウ)斜坑掘 (エ)その他 ()					
	運 搬 方 法						
	跡 地 の 処 理 方 法						

- 備考 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。ただし、行為の区分の欄は、2以上の行為を併せて行う場合は、それぞれについて記入してください。
- 2 土地の形質の変更は、宅地の造成、土地の開墾、土石類の採取及び水面の埋立て又は干拓以外のものも含まれます。
- 3 隣接地の現況については、林地、伐採跡地、草地等の別及び木竹、建築物、工作物等の有無を記入してください。
- 4 跡地の処理方法については、裸地、砂利舗装、埋戻し等及び法面の芝、コンクリートブロック擁壁、放置等について具体的に記入してください。
- 5 移動土量のうちその他については、掘削、搬出等を具体的に記入してください。
- 6 採取方法のうち(エ)その他については、採取方法を具体的に記入してください。
- 7 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書とし、変更前のは朱書で上段に、変更後のは黒書で下段にそれぞれ記入してください。
- 8 ※の欄は、記入しないでください。

5 木竹の伐採

行 為 の 区 分	行 為 の 概 要		※摘要
1 森林地内の伐採	伐 採 の 目 的		
	伐 採 区 域 面 積	m ²	
	伐 採 区 域 の 林 相	(ア)針葉樹林 (イ)広葉樹林 (ウ)針広混交樹林 (エ)竹林	
	疎 密 度		
	伐 採 区 域 の 林 齢 又は 林 齢 範 囲		
	伐 採 量	m ³	
	伐 採 主 要 樹 種		
	伐 採 方 法	(ア)皆伐 (イ)択伐	
	伐 採 後 の 跡 地 の 処 理 方 法		
	隣 接 地 の 現 況		

3 森林地外の伐採	① 集団をなす木竹の伐採	伐採の目的				
		伐採区域面積		m ²		
		伐採区域の主要樹種				
		伐採区域の樹齢又は樹齢範囲				
		伐採量		本 m ³		
		伐採主要樹種				
		伐採方法		(ア)皆伐 (イ)択伐 (択伐率 %)		
		伐採後の跡地の処理方法				
		隣採地の現況				
	②独立の木竹の伐採	伐採の目的				
		樹種名	樹齢	樹高	胸高直径	本数
			約年	m	m ²	本

- 備考 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
2 疎密度は、樹冠投影面積の10分比で表わしてください。
3 伐採後の跡地の処理方法については、植栽、放置等を記入してください。
4 隣接地の現況については、土地の状況並びに木竹、建築物、工作物等の有無及びその種類等を記入してください。
5 「択伐率」とは、伐採区域における総材積に対する択伐量をいう。
6 「胸高直径」とは、1.3メートルの地上高の幹直径をいい、双幹以上のものは、各幹直径の合計の70パーセントを採り、1.3メートルのところが枝の分れ目であるときは、すぐ上部の寸法を採用してください。
7 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書とし、変更前のものは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。
8 ※の欄は、記入しないでください。

6 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積

行為の区分	行為の概要		※ 摘要
屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	堆積する土石、廃棄物又は再生資源の種類		(ア) 土石 () (イ) 廃棄物 () (ウ) 再生資源 ()
	隣接地の現況		
	規	堆積面積	m ²
		堆積物の高さ	m
	模	その他	
	堆積の期間		年 月 日から 年 月 日まで
	堆積物撤去後の跡地の処理方法		

- 備考
- 1 該当の符号を○で囲んでください。
 - 2 隣接地の現況については、林地、伐採跡地、草生地等の別及び木竹、建築物、工作物等の有無を記入してください。
 - 3 規模については、行おうとする堆積の最大の値を記入してください。
 - 4 堆積の期間については、堆積に着手する日から堆積物を撤去し、跡地の処理を完了する日までを記入してください。
 - 5 堆積物撤去後の跡地の処理方法については、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。
 - 6 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書とし、変更前のは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。
 - 7 ※の欄は、記入しないでください。

協 議 書

年 月 日

芦屋市長 宛

申請者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

.....
氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

.....
⑩

電話（ ） - 番

芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例第2条第3項の規定により、関係書類を添えて、次のとおり協議します。

敷地又は 行為地	所 在 (地 番)				
	地 目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)その他()			
	現 況				
	用途地域	地域	地区	指定なし	
	風致地区 の 種 別	第1種風致地区	・	第2種風致地区	・
行為の区分	(ア)建築物の(新築・改築・増築・移転) (イ)工作物の(新築・改築・増築・移転) (ウ)建築物等の色彩の変更 (エ)宅地の造成 (オ)土地の開墾 (カ)水面の(埋立て・干拓) (キ)木竹の伐採 (ク)土石類の採取 (ケ)屋外における(土石・廃棄物・再生資源)の堆積 (コ)その他()				
行為の期間	年 月 日 から 年 月 日 まで				
設 計 者	住 所				
	会社名・氏名		電話	()	-
施 工 者	住 所				
	会社名・氏名		電話	()	-
他の法令の 規定により必 要な許認可等	許認可等の名称	許認可等の申請年月日	許認可等の行政庁	許認可等の年月日 及 び 番 号	
※ 受付欄			※ 処理欄		

- 備考 1 この協議書には、設計説明書、土地の権利関係を証する図書及び関係図書を添付してください。なお、変更の場合は、添付図書(状況カラー写真を除く。)の変更部分について、前回協議書の写しを利用し、変更箇所を赤字で下段に記入してください。
- 2 該当の符号又は事項を○で囲んでください。
- 3 敷地又は行為地の現況については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
- 4 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
- 5 代理人により協議する場合は、委任状を添付してください。(担当者・連絡先記入)
- 6 ※印の欄は、記入しないでください。

通 知 書

年 月 日

芦屋市長 宛

申請者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

.....
氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

⑩

.....
電話（ ） ー 番

芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例第3条の規定により、関係書類を添えて、次のとおり通知します。

敷地又は 行為地	所 在 (地 番)			
	地 目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)その他()		
	現 況			
	用途地域	地域	地区	指定なし
	風致地区 の 種 別	第1種風致地区	・ 第2種風致地区	・ 第3種風致地区
行為の区分	(ア) 建築物の(新築・改築・増築・移転) (イ) 工作物の(新築・改築・増築・移転) (ウ) 宅地の造成 (エ) 土地の開墾 (オ) 木竹の伐採 (カ) 土石類の採取 (キ) 水面の(埋立て・干拓)(ク) 建築物等の色彩の変更 (ケ) 屋外における(土石・廃棄物・再生資源)の堆積 (コ) その他()			
行為の期間	年 月 日 から 年 月 日 まで			
設 計 者	住 所			
	会社名・氏名	電話	()	ー
施 工 者	住 所			
	会社名・氏名	電話	()	ー
他の法令の 規定により必 要な許認可等	許認可等の名称	許認可等の申請年月日	許認可等の行政庁	許認可等の年月日 及 び 番 号
※ 受付欄		※ 処理欄		

- 備考 1 この通知書には、設計説明書、土地の権利関係を証する図書及び関係図書を添付してください。なお、変更の場合は、添付図書（状況カラー写真を除く。）の変更部分について、前回通知書の写しを利用し、変更箇所を赤字で下段に記入してください。
- 2 該当の符号又は事項を○で囲んでください。
- 3 敷地又は行為地の現況については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
- 4 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
- 5 代理人により通知する場合は、委任状を添付してください。（担当者・連絡先記入）
- 6 ※印の欄は、記入しないでください。

許 可 書

文 書 番 号

年 月 日

申請者 住所.....

氏名..... 様

芦屋市長

芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例第2条第1項の規定により、次の条件を付けて許可する。

記

1 申請年月日

2 風致地区名

3 敷地又は
行為地

4 行為の区分

5 条 件

- (1) 行為は、許可書のとおりとすること。
- (2) 工事を着手したときには着手届を提出すること。
- (3) 工事期間中、風致地区内行為許可票（様式第9号）を土地の区域内の見やすい場所に設置すること。
- (4) 申請者等の変更が生じた場合は、速やかに変更・異動届（様式第7号）を提出すること。
- (5) 工事を完了したときには届出書（様式第8号）を提出すること。
- (6) 他法令等による許認可後に工事着手すること。

なお、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、芦屋市長に対し、異議申立てをすることができます。ただし、処分の日から起算して1年を経過した場合は、異議申立てをすることができません。

また、異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6ヶ月以内に、芦屋市長を被告として、この処分の取消しの訴えを提起することができます。ただし、当該決定の日の翌日から起算して1年を経過した場合は、取消しの訴えを提起することができなくなります。

不許可通知書

文 書 番 号
年 月 日

申請者 住所.....

氏名..... 様

芦屋市長

芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則第5条の規定により、当該申請を不許可とする。

記

- 1 申請年月日
- 2 風致地区名
- 3 敷地又は
行為地
- 4 行為の区分
- 5 不許可
の理由

なお、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、芦屋市長に対し、異議申立てをすることができます。ただし、処分の日から起算して1年を経過した場合は、異議申立てをすることができません。

また、異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6ヶ月以内に、芦屋市長を被告として、この処分の取消しの訴えを提起することができます。ただし、当該決定の日の翌日から起算して1年を経過した場合は、取消しの訴えを提起することができなくなります。

変 更 ・ 異 動 届

年 月 日

芦屋市長 宛

申請者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

.....
氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

.....
電話（ ） — 番

⑨

芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例第6条の規定により、関係書類を添えて、次のとおり通知します。

許可年月日 及び番号	平成 年 月 日	芦屋市許可風第 号
変更又は異動の理由		
	変更後（異動後）	変更前（異動前）
敷地の位置	芦屋市	芦屋市
申請者住所 及び氏名		
設計者住所 及び氏名		
施工者住所 及び氏名		
その他		

- 備考 1 届出者は、申請者等の住所・氏名を記入すること。
- 2 申請者等の名義変更による場合の届出者の欄は、変更後の住所氏名を明記すること。
- 3 この届には前回許可書等の写し、許可申請書の写し及び異動内容を証する資料等を添付してください。
また申請者等の異動の場合には前述図書の他、土地の権利関係を証する図書も添付してください。
- 4 代理人により提出する場合は、委任状を添付してください。（担当者・連絡先記入）
- （注） 提出部数は 正・副 各1部

届 出 書

年 月 日

芦屋市長 宛

申請者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

.....
氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

.....
電話（ ） ー 番
.....

完 了

風致地区内の行為を 中 止 したので、芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する
廃 止

条例施行規則第6条第3号の規定により、次のとおり届け出ます。

許可を受けた行為の 許 可 番 号	
完了 行為 中止 年月日 廃止	
行為の中止又は 廃止の理由	

- 備考 1 完了、中止及び廃止のうち該当のものを○で囲んでください。
2 この届出には緑地面積算定図、出来高図（植栽、擁壁、造成）、完了写真を添付してください。

様式第9号（第8条関係）

風致地区内行為許可票	
許可年月日及び番号	
行為者の氏名・住所	
許可を受けた行為の内容	
行為施工期間	年 月 日 から 年 月 日 まで
担当者・連絡先	

備考 1 許可票は、縦30センチメートル以上及び横50センチメートル以上の大きさにすること。

2 「行為者の氏名」欄には、法人にあつては名称及び代表者の氏名を記載すること。

様式第10号（第9条関係）

第 号
身 分 証 明 書
所属 氏名
上記の者は、芦屋市風致地区内における建築等の規制に関する条例第7条第1項の規定により、 風致地区内の土地又は建物内に立ち入ることができる者であることを証明する。
年 月 日 交付
芦屋市長 印